

令和6年2月9日

寮生・保護者各位

校長
太田道也

学生寮給食における異物混入について（ご報告）

日頃より、鶴鳴寮の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

学生寮給食において先月発生しました白米への異物混入については、給食提供業務を委託しているシダックスコントラクトフードサービス株式会社（以下、「シダックス社」）へ異物分析及び混入原因の調査を依頼しておりました。

調査の結果、白米の精米過程において「石」が混入したことが判明いたしました。

現在、庄内保健所からの指導助言に基づき、シダックス社と協議の上、再発防止に向けて次の点に取り組んでおります。

1. 食材に関する取り組み

- ・白米は、仕入先を変更し従来の無洗米から一般米へ切り替えて提供しております。
- ・沈殿物除去の観点から、炊飯釜の底部の米は使用せずに廃棄しております。

2. 監視体制に関する取り組み

- ・監視に専念する人員を新たに2名配置しております。
- ・シダックス本社などによる作業工程確認等のための視察の頻度を高めて実施しております。

3. 施設及び設備に関する取り組み

- ・緊急対応として、2月8日（木）及び9日（金）に食堂及び厨房内の一斉点検を実施します。
- ・金属探知機を導入し、全ての食材に対しての検品を実施しております。
- ・米販売業者の機械設備のメンテナンスについて、半年に1度から3か月に1度の周期に頻度を高めて実施しております。
- ・調理器具の破損・欠損対策として、器具の更新を定期的に行っております。

4. 調理スタッフへの指導に関する取り組み

- ・スタッフ全員に食の安全に関する研修を受講させ、異物混入や食中毒など食の事故に対する知識醸成と意識向上を図っております。
- ・スタッフ厨房入室時に、スタッフ同士で付着物チェックを行い、混入起因物の持ち込みを防止しております。

5. 寮生への指導に関する取り組み

- ・食堂入室前に、自身の身体や衣服への付着物を払うとともに、衛生環境を保つよう指導を徹底しております。

寮生及び保護者をはじめ関係の皆さまには、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

このたびの事案以降、寮生自身も異物混入に対する意識を高く持ち、咀嚼時の違和感や毛髪の発見など、ただちに報告いただいておりますことから、学校を挙げて、食に関する事故の防止に向けた取り組みを行い、安全・安心な食事の提供に努めてまいります。